

## 最近のカゼの流行

令和5年3月中旬から、アデノウイルス結膜炎を多く見るようになりました。

春の保育園健診でもクラスの7-8割が軽いアデノウイルスの結膜炎になっていました。

次にアデノウイルスによる発熱のお子さんが増えました。それと同時に各所でいろいろなカゼが同時に見られるようになりました。

全国のお子さんがカゼをひき、小児科を中心に真冬のような外来が続きます。5月、6月、7月と、この状態は持続。

アデノウイルス、エンテロウイルス、RSウイルス、溶連菌など小児科でよく見られる名だたる病気が同時多発的な状態で見られました。

コロナ感染予防で、3年間自粛したため、無事にコロナウイルスに感染しなかっただけでなく、普通のカゼもかからなかったのです。カゼはある程度ひき続けることによって免疫が獲得され、強化されていきます。

それをずっとスルーしたために、免疫が低下してしまった、ということです。

特に1歳から5歳までは、よくカゼをひく年齢です。

自粛の3年間にかかるべき病気にかからずに済んだと思っていたら5月、6月、7月からカゼの連続が始まりました。

「1つ1つカゼをひいて免疫をつけて下さいね」

と、言われているかのようでした。

8月に入り、夏休みで一旦カゼの感染はおさまりましたが、9月に新学期が始まった途端、夏休み以前ほどではないですが、再びカゼが流行しています。

局所で流行しているカゼの種類が異なることもあり、この学校ではインフルA、この保育園ではRS、この中学校のあるクラスではコロナ…のような状況になっています。

9月下旬になり、カゼは落ち着いてきています。



もし、お子さんの調子が悪くなったら、医療機関で診断をつけてもらいます。そして、1つ1つ治していくだけです。軽症であれば、自宅での安静だけで軽快することもあるでしょう。今年は今までに見たこともないカゼの流行パターンです。コロナも普通のカゼと同じ扱いです。特に法律的な縛りもありません。冷静に対応しましょう。



## インフルエンザワクチンの件

10月5日(木)から、インフルエンザワクチンの予約を開始します。

10月16日(月)から接種開始予定です。予約制です。無くなり次第終了となります。詳しくはホームページ、または受付で確認して下さい。よろしくお願ひします。



## 带状疱疹ワクチンの受付

50歳以上の方が対象となります。不活化ワクチンを2回接種、筋肉注射となります。副反応：注射部位の痛み(78%)、発熱が見られます。市町村からの助成金が出ますので、お尋ね下さい。



## お知らせ

休診のお知らせ 10月11日(水)、21日(土) 都合により休診します

岐阜市の漢方外来 10月7日(土) 14日(土) 時間:14:00-17:30 場所:中島小児科(岐阜市健産東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 10月6日(金) 時間:19:30-22:30(受付) 場所:岐阜市民病院